西東京市市民協働推進センター
平成２３（2011）年度第１回運営委員会会議録（確定稿）

■**開催日時**：平成２３年４月１９日（火）　午後７時～９時
■**開催会場**：イングビル３階　第１会議室
■**出席委員**：有賀委員、有馬委員、久保委員、熊田委員、坂口委員、田辺委員、徳永委員、
豊永委員、中曽根委員、原委員、宮﨑委員、吉田委員
＜以上12名、敬称略、五十音順＞
■**事 務 局**：西口センター長、望月事務局長、丸木地域福祉課長、中澤主事、保坂

○委員長は、社会福祉法人西東京市社会福祉協議会西東京市市民協働推進センター運営委員会設置規則により、ボランティア・市民活動推進事業担当理事候補者の熊田博喜氏に決定。副委員長に坂口和隆氏を互選した。

１．報　告　事　項

１．西東京市市民協働推進センターの業務報告について

事務局：「会計講座（中級編）」（2月2日）は14名の参加だった。「協働を考えるシンポジウム」（2月9日）は、「市民と共につくる協働に向けて」という全体テーマの元に開催した。基調講演の山崎富一さんや協働コミュニティ課の浜名幹男さんにご登壇いただいた。「ＮＰＯ市民フェスティバル」（2月20日）は参加者350人、30程度のブースを作った。企業との連携の第一歩にもなったと考えている。
「アドボカシー講座」（3月5日）は、アクションポート横浜の川崎あやさんに「地域のニーズから社会のニーズへ」という切り口で、市民活動実践による政策提言について語っていただいた。「トークサロン『西東京市の女性の聞き書き集』面白さ倍増～編さんこぼれ話」では、ＮＰＯ法人生活企画ジェフリーの渡辺美恵さんに女性史編纂について語っていただいた。「登録団体向けホームページ説明会」（3月26日）は21団体の25人に参加していただいた。3月12日に予定していた「名刺交換会」（第4回ＮＰＯ･市民活動ネットワーク）は前日の東日本大震災の影響で中止とした。
次に新規登録団体の紹介をする。2月に51番目の団体として「猫の足あと」の登録があった。1年前は31団体だったので、1年間で20団体の登録があったことになる。今年もこの輪を広げていきたい。
１年間の相談件数は 47 件だった。２月、３月の相談件数は各々３件だった。２月には後に「猫の足あと」を立ち上げる方から地域の教育支援を行いたいとの相談があった。
委　員：2月の相談が団体登録（猫の足あと）につながったのは素晴らしい。
事務局：ホームページには、「猫の足あと」のイベントが載っているので、そちらもご覧ください。
委員長：ホームページ説明会に参加した委員の方、どういう状況だったか説明してほしい。
委　員：システムは汎用的で、ちょっと難しいところもあるが、使いやすい。しかし、イベントが終わった後に報告をする場がほしい。
委員長：今後そういった報告を残していくことは可能か。
事務局：4月15日にスタートして、いくつか課題があると認識している。例えば、お助け情報やこれまでの運営委員会の会議録の公開は準備中だ。団体情報掲載の様式も、団体の特徴を示すようなワンセンテンスだけでなく、より詳しく説明したいというリクエストもある。特別会員と一般会員で会費が異なる場合などに対処するため、会費の欄を自由記入にしようかと考えている。ご指摘のことも含め、なるべく早く改善したい。
委　員：説明会のときは（ＰＣに）詳しい人から活発に質問が出ていて、会自体は意義があった。
委員長：今後もホームページは改善の必要があるかと思う。ところで、お助け情報は来ているか。
事務局：ダンスを教えたいという１団体が来ている。今後の方針として、政治・宗教や営利の絡む個人、団体は避けたい。ただし、営利といっても判断は難しい。交通費や指導料が社会通念上妥当ならよいと思う。紹介してもよい団体や個人がいたら、情報を寄せてほしい。
委　員：ゆめこらぼホームページの検索順位が低い。
事務局：ゆめこらぼという団体は複数ある。「ゆめこらぼへようこそ」の10文字で検索していただきたい。
委員長：検索順位を上げることはできるか。
委　員：キーワードを埋め込んだり、リンクを張ったりする。さらに更新することで、順位は上がる。ブログ等で頻繁に更新したらどうか。

事務局：登録団体が、イベントを更新しているかどうか、朝と夕方にチェックしている。その過程で、順位が上がるように頑張りたい。
委　員：アクセスカウントを集計したらどうか。
事務局：ホームページについて有益な指針が得られる。今後検討していきたい。

２．４月以降の実施事業について

事務局：4 月 2 日の「『大震災、いま私たちができること』を考える集い」は予定に無いものだった。西東京市芸術・文化市民協議会の山中好信さんと、田無ソーシャルメディア研究会の原田光久さんに語っていただいた。また参加した運営委員からは地元ラジオ局の取り組みについて話していただいた。急きょ開催したものなので、私たちが保持しているメーリングリストだけで案内したが関心が高く 22 名の参加があった。今後は災害時のネットワークづくりについても考えていきたい。

5 月 13 日のトークサロンには高木仁三郎基金の菅波完さんをお呼びする。市民ファンドの設立についても考える機会としたい。

６月 18 日には、「ＮＰＯ・市民活動団体～交流の夕べ～」と称してワンコインパーティーを予定している。これは、3 月 12 日に中止になった名刺交換会の代わりとなるイベントだ。

7 月 2 日には市民シンポジウムをアスタのセンターコートで開催する。テーマは仮称だが、「子どもたちの笑顔あふれるまちづくり」と考えている。子どもに関係のある団体の方にパネリストをお願いし、このシンポジウムを機に、「子どもネットワーク」の結成につなげたい。さらには、芸術・文化や障がい者福祉など、様々なネットワークを作っていきたい。

委員長：4 月 2 日の会は市役所の方から意見があったそうだが。
事務局：当初、話題提供者として、海外での災害支援経験もある山中さん１人を予定していた。年間業務計画にはないが時宜にかなったことをしてみたいという希望もあった。この企画を投げかけたところ、行政からはいろいろな人の意見を聞くのがよいのではないかとアドバイスをいただいた。そこで、原田さんにもニューメディアの角度から話題提供をお願いした。
委員長：業務計画の取り扱いに関して、市と協働センターで今後考えていく必要を感じた。今回の会合に参加した委員に意見、感想などを話してほしい。
委　員：地域のラジオ局としてどういう放送をし、どういう取り組みをしたかをご紹介した。私たちの社員も出席したが、外で市民の意見を聞くことができ、いい機会になった。
委　員：センター長の発案ではあったと思うが、満足度も高くよかった。自粛するだけで、満足することのないような心がけが大切だ。
委員長：自粛には、大勢人を集めたときのリスクを減らす意味合いもあるかもしれない。しかし、なんでも自粛では、活力は生まれない。
委　員：今回の会合の予算はどうしたのか。
事務局：若干の謝礼は発生するが、年予算の範囲内で調整する。
委　員：今回の活動の結果や、参加者から出た意見を市にフィードバックすることが大切だ。
事務局：すでに参加者からの意見を協働コミュニティ課に伝えた。

３．平成２３年度西東京市市民協働推進センターの事業及び予算について

委　員：経費の積算で、大きくお金を使っているのは事業以外だ。もっと事業に予算を回す仕組みはできないのか。例えば、運営委員会が一番予算を使っているが、運営委員会の頻度や委員の人数など、検討する必要がある。
委　員：資料には、各事業の詳細が記されており、事業の予算が小さく見えるようになっている。そのため、運営委員会など、事業以外の予算が大きく感じてしまうのではないだろうか。
委　員：見え方うんぬんではなく、実際の中身を考える必要があるのではないか。
事務局：貴重な意見をいただいた。租税公課等の事業以外の費用が大きくなってしまったので、示し方等も含め、今後検討していきたい。

２．審　議　事　項

１．平成２２年度第１０回西東京市市民協働推進センター運営委員会会議録について

事務局：運営委員会会議録をホームページに掲載しようと考えているが、ホームページ掲載までを考慮して、過去の会議録を確定していない。個人が特定できるような表現等はどう扱ったらよいか。

委員長:ホームページ掲載のためのルール作りが必要ではないか。事務局としてはどのように考えているのか。
事務局：過去の会議録をひととおりチェックしたところ、特定の人以外の表現は特に大きな問題はないと感じたが、もう１度チェックしたうえで、報告したい。
委員長：委員の人事を決める際の記録の仕方はどうするか。
委　員：結果しか記載しないのが一般的だ。人事に関わる部分は削除してもよいのではないだろうか。
事務局：次回の運営委員会で、ホームページ掲載のためのルールについて協議してほしい。
〇平成 22 年度第 10 回運営委員会会議録（未定稿）を確定稿とした。

２．西東京市市民協働推進センター運営委員会委員の増員について

事務局：候補として挙げた人は市民活動全般に見識があり、適任だと思う。
委　員：この方自身に異論はないが、ジェンダーバランスに配慮すべきではないだろうか。
事務局：今後の課題として考えていきたい。今回は事務局からの候補者に就任依頼をする。

３．西東京市市民協働推進センター運営事業報告書（案）について

委　員：この報告書は、事業報告というより、事業記録だと思う。これはこれで必要だが、事業を評価し、総括する必要がある。委員の間で議論したらよいと思う。
事務局：今後、検討していく。
〇事業報告書（案）を承認する。

３．そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

事務局：次回は５月１７日（火）午後７時から。
会場はイングビル３階　第１会議室。

以上をもって散会した。